

川は流れて息まず

淵は登んで映を取る (『千字文』より)

川柳が好きなんですか、と聞かれることがあります。「川の流れ」と答えると、どんな意味？と質問が続きます。そこで、センリユウに關わる言葉を書風集に集めました。

おんこちしん【温故知新】①

故きを温ねて新しきを知る。進取の精神は企業に不可欠。しかし、故事をたずねると、深い洞察に驚くことも屢々。斬新な発想に繋がることも、**②(旬)センリユウの宣伝瓦版**。

かわのながれのように【川の流れるように】美空ひばり

晩年のヒット曲。歩んできた人生を緩やかな大河の流れに重ね合わせる。中高年のカラオケ上位曲。

せんじもん【千字文】6世紀

初頭、中国の梁でつくられた習字の handbook。重複しない1千字の漢字を4字1句とし、20句の詩文からなる。故事、逸話を織り込み、児童の初学書として普及。日本でも7世紀以降、明治の文部省教育が始まるまで、読み書きの入門書だった。

SENRYU.Biz
温故知新

第1号 (7.15/05) 社名の由来

「温故知新」は、(旬)センリユウの宣伝瓦版です。
発行：有限会社センリユウ
〒335-0022 埼玉県戸田市上戸田1-2-2
Tel. 048-447-6906 Fax. 048-447-6907
<http://www.senryu.biz/>

せんりゅう【川流】①『千字文』第69-70句「川流不息 淵澄取映」冒頭の2字で、**(旬)センリユウの社名の由来**。

②《論語風の説明》川の流れが息むことのないように、学び修養に努めなければならない。また、澄んだ淵のように虚心に自分や世の中を観察することが重要だ。

③《新釈》川の流れるは時と所に応じて千変万化しながら、水の動きという本質は変わらない。大岩に遮られると動けなくなる。その時は静かに岩を映す淵となり、人を愉しませる。やがて時至れば岩を穿ち、流れを取り戻す。人の生き方もそうありたいものだ。

せんりゅう【川柳】①かわや

なぎ(楊)。別名ネコヤナギ。3〜4月頃、猫の尻尾状の毛におおわれた花をつける。江戸中期の俳人・柄井川柳の「木枯やあとで芽を吹ける川柳」は有名。②柄井川柳が評点し選定した句を指す。滑稽、風刺等の特徴とする。

(旬)センリユウとは無関係

せんりゅう【潜龍】野に潜

み、出番を待つ優れた人物。

せんりゅう【千流】千は数や

種類の多さ。無数の流れ。

せんりゅう【千龍】中華飯店

等の屋号。千龍寺はお寺。

せんりゅう【扇柳】人の姓。正しくは「おうぎやなぎ」。

せんりゅうどっとびず【センリユウドットビズ】(旬)センリユウの公式ドメイン。
<http://www.senryu.biz/>

どっとびず【ドットビズ】(英) biz ビジネスのために作られたドメイン。bizは business の略語。クールビズは環境省作の和製英語。

ゆうげんがいしゃせんりゅう【有限会社センリユウ】埼玉県戸田市の企業。印刷・DTP・WEBのパートナーを標榜して、04年3月9日創業。①印刷&DTP②チラシ・パンフレットの制作。書籍はinDesign@Windowsで快速制作。レイアウト・デザイン・リリースもOK。

②WEB&ホームページの制作・運用。③PCC「データベース、社内LANやネットワークアップシステム構築なども定評有り。印刷物やパソコンでお困りのとき、まずはご連絡を!!

ゆくかわ【ゆく河】鴨長明

『方丈記』冒頭の言葉。「ゆく河のながれは絶えずして、しかももとの水にあらず。よどみに浮ぶうたかたは、かつ消えかつ結びて久しくとどまりたる例なし。川の流れて淵に生滅する泡沫に、諸行無常を読み込むと、人の世の儚さがしるのでくる。